いけだまち議会だより

NO.147
令和7年7月23日発行

令和７年度６月議会
一般質問から

防犯対策として監視カメラの設置を！

美術館の今後は？

南部に防災倉庫が必要だ！

池田町の農業、これからどうする？

町民の健康課題へ取り組みを求める

地域猫 野良猫対策は？

デマンド交通！求む！

義務教育あり方検討委員会ってそもそも…？

補聴器 メガネに補助必要では？

目玉補正予算!!

子ども医療費自己負担金無料化

一体感？ポロシャツ！

６月定例会

一般会計補正予算の目玉…３
議案審査の内容……４
議会基本条例の一部改正…６
一般質問……７
町民と議会の懇談会……14
新議会役員体制……15
町民の声：バスについて…16

ここが聞きたい！ 委員会審査 質疑

予算・決算に係わる議案は予算決算特別委員会（全議員）で審査し、その他の議案は２つの常任委員会（総務福祉委員会、振興文教委員会、各６人、議長は両委員会に所属）で審査します。委員会審査のポイントは下記のとおりです。

予算決算特別委員会　●一般会計補正予算（第２号）議案

委員会審査結果：賛成多数で可決

夏用ポロシャツ作成（152万円）について

問　クールビズ用ならば、シャツの色は白を基本にした方が良いのでは。

答　色は黒を基本とするが、検討する。

問　ポロシャツは町職員には貸与、希望する町民は購入可能になっている。生活が厳しいなか、町民の理解が得られるか心配である。

答　ポロシャツは職員の福利厚生の一環として被服貸与する。同じ服装で一体感を育てたい。

【委員会審議】

○多数意見：職員を激励する意味でポロシャツ作成は認めて良い。議員は購入すべきである。

○少数意見：152万円の予算は別の町民福祉（補聴器購入補助など）に使うべきである。

消防団員退職報償金（86万円）について

問　退職された団員は何人か。また、今の消防団員は何人か。

答　退職団員は14人で、消防団員数は202名（定員230人）である。

問　消防団員数が定数に達していないが、町としての考えは。

答　機能別消防団員（※）の導入を検討したい。また、自主防災会との連携も検討していきたい。

※機能別消防団員とは：消防団を退職した方で特定の活動（例：消防車の運転など）にのみ参加する消防団員を言う。

振興文教委員会　●財産の無償譲渡及び無償貸し付け議案

委員会審査結果：賛成多数で可決

【町説明】来年度から旧会染保育園で民間保育事業者による保育を実施するため、有限会社 ネイチャーセンター（内田幸一代表、長野市）に建物（1450㎡）を無償譲渡する。また、保育園用地（6068㎡）を10年間無償貸付とする。同社は自然保育を特徴としており、保護者の選択の幅が拡がり、他町村からの移住が期待できる。また、指定避難所の維持管理もできる。

【審査意見】

問　建物を無償譲渡する理由は。

答　民間保育事業者への建物改修の国交付金の申請を行うには、建物は民間保育者の所有であることが条件である。

問　民間事業者が10年以内にやめたら、町は建物を使えなくなるのでは。

答　募集要綱の時点で、事業者が事業をやめる場合は、譲渡された建物は事業者の負担で撤去し、更地にして返還することになっている。但し、町が使いたい場合はその限りではないことを承知し、応募して頂いている。

問　この件に関し、町民説明会を実施してない段階での採決は難しい。町民説明会を行った後に議決すべきである。

答　国への交付金（建物改修）申請の関係で、今回認めていただかないと来年４月の開園ができなくなるのでご理解いただきたい。説明会は進めていく。

【意見】町民の理解を得てからの方が町民は納得する。町民説明会が後になる形で決定していくことが心配である。

旧会染保育園

令和7年6月定例会

子どもの医療費 自己負担金500円の無料化実現!!

●6月定例会議会の概要

6月定例会議会は6月9日から6月19日まで行われ、承認5件、議案7件、発議3件を審議し、発議2件を除き原案どおり可決しました。

一般会計補正予算（第2号）の目玉事業

福祉医療給付事業 405万円

18歳以下の子どもの医療費の自己負担金500円を無料化する予算
8月1日から実施
【財源】一般財源

定額減税補足給付金事業 3,361万円

定額減税に係る支給額に不足が生じた方に追加給付する事業。
対象者：約1,000人
【財源】国交付金 100%

夏用ポロシャツ作成事業 152万円

【注】販売用200着（町民向け100着・職員向け100着）は売れれば町収入（1着2千円）となり、その額分は予算減になる。

クールビズの一環として夏用ポロシャツを400着程度作成する。職場やイベントなどで着用することにより町職員の一体化を育む。また町民にも販売し、行政と町民の一体化を図る。町職員には福利厚生の一環として1着のみ貸与とする。
【財源】一般財源

ポロシャツのロゴマーク

大力エデ樹勢回復対策 33万円

大力エデの樹勢回復のため枯枝除去、土壌改良などを行う。
【財源】一般財源

本会議質疑・討論

常任委員会で審議された議案・発議は議会最終日に議員全員で質疑・討論し、議決されます。主な議案の討論（賛成・反対意見など）について紹介します。

池田町福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する議案

内　　容：18 歳以下の子どもの医療費の自己負担金をなくす条例改正
審査結果：全議員の賛成で可決

〈賛成討論〉

【服部久子議員】子どもの医療費の完　全無料化は子育て世帯にとって大変心強く、少子化対策にも効果があるので賛成する。

【薄井孝彦議員】子どもの医療費の完全無料化は子育て世帯への大きな支援になるので賛成する。町財政状況をみて福祉医療対象者全員に給付すべきと考える。

財産の無償譲渡及び無償貸し付け議案

内　　容：旧会染保育園の建物を無償譲渡し、土地を 10 年間無償で貸し付ける。
審査結果：賛成多数で可決

〈反対討論〉

【和澤忠志議員】建物を無限に譲渡することに反対である。また、町民に説明してから決定すべきであり、行政手続き上の問題があるので反対する。

〈賛成討論〉

【三枝三七子議員】旧会染保育園の建物は築 45 年経過している。この老朽化した建物を有償で貸し付ければ、民間事業者への国の補助金は見込めなくなる。子どもの声が聞こえる町にするため賛成する。

〈賛成討論〉

【安部　誠議員】本件により子育て世帯の保育園選択肢が増えること、また、旧園舎が社会資本として活用できることの 2 点から賛成する。

〈賛成討論〉

【山﨑正治議員】本件については既にネイチャーセンターに決定されており、これ以上行政を混乱させることは是でない。よって賛成する。

〈賛成討論〉

【薄井孝彦議員】池田町南部に保育園ができることは、同地域の親子に有益であり、人口増につながるので賛成する。

一般会計補正予算（第２号）

内　　容：規定の歳入歳出予算に 5,925 万円を追加し、予算総額を 55 億 3,585 万円とする議案
審議結果：全議員の賛成で可決

〈賛成討論〉

【薄井孝彦議員】子どもの医療費の完全無料化の予算や必要な予算が盛り込まれているので賛成する。予算執行上の留意点について 2 点述べるので検討すべきと考える。

①夏用ポロシャツ作成については、職員の要望を十分に聞いて作成すべきと考える。また、職員には貸与、町民は購入では理解が得られない面もあるので、広報などで十分な説明をすべきと考える。

②需用費が増えているので、９月議会で今後の町財政シュミレーションを作成すべきと考える。

一目でわかる!!

提出された議案・決議についての審査結果

6月定例会
提出案件

○…賛成　●…反対

	区分	件名	審査結果	矢口結以	三枝三七子	安部誠	山崎正治	大厩美秋	中山眞	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
6月定例会	承認	税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和6年度一般会計補正予算（第9号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	議案	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例の制定について（18歳以下の子どもの医療費自己負担金500円を無料化する）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		財産の無償譲渡及び無償貸し付けについて（民間保育事業者に旧会染保育園の建物を無償譲渡し、土地を10年間無償で貸し付ける）	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－
		令和7年度一般会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和7年度水道事業会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和7年度下水道事業会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		令和7年度町立高瀬中学校GIGAスクール端末の購入の契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	発議	池田町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
		地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書について	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●
		選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●

※横澤議長は通常は表決に加わりません。しかし、発議2件のように議員の賛否が同数の場合は表決に参加します。

※議員発議の２件（地域医療を守る意見書、選択的夫婦別姓制度を求める意見書）の質疑内容は 12 ～ 13 頁にあります。

傍聴者の感想　荻窪　登（五丁目）

ネットでも見られますが、一町民として「宜しく頼むぞ！」の想いで傍聴させて頂きました。
沢山の人が関わることが池田を元気にすることだと考えています。

会染小学校3年生27名が6月19日、町議会を傍聴しました。

より「政策提案」する議会に!!
池田町 議会基本条例の一部を改正しました

今議会で、「池田町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について」を議会発議し、全議員の賛成で可決されました。改正の理由・経過及び内容について紹介します。

1．改正の理由・経過

池田町議会基本条例は12年前の2013年9月10日に制定された。条文中の根拠法令が変わったこと、また、時代の変化により議会に求められる役割も変わってきていることから、昨年の10月から議会基本条例の見直し部会（構成員：8人）を立ち上げ、見直し作業を開始した。今年の3月まで8回の部会を開き、見直し案をまとめた。議員協議会で協議した後、パブリックコメント、庁内法規審査委員会の審査を受け、改正案を6月定例会に上程した。

2．改正のポイント

1．少子高齢化・人口減少の時代を迎え、町民・議会・行政が協働して「まちづくり」を進めることが必要であり、議会として、「政策提案力」を高めることが求められている。それを実現するために必要な条例改正を行った。

2．常任委員会での「政策提案力」を高めるため、基本条例の常任委員会の条文に「委員会は政策提案を積極的に行うよう努める」ことを追記した。

3．基本条例に、議員と一緒に政策提言を検討する町民（「議会政策サポーター」）を置くことができることを追記した。

4．基本条例に、議員とは別に、常任委員会の代表が一般質問を行えることを追記した。

5．基本条例に、計画的な議会活動を進めるため、「議会活動計画」を策定することを追記した。

6．基本条例に、「災害時の議会としての対応原則」を追記した。

7．基本条例に、議会（議員）活動が基本条例どおりになされているかを毎年点検することを追記した。

8．基本条例第13条の「参考人制度（※）」の根拠法令の条項が変わったので改めた。
※請願・陳情の提出者が委員会に出て説明することを可能とする制度

〈令和7年5月9日臨時議会の議決事項〉

◎承認案件　令和7年度一般会計補正予算
【内容】既定の予算に5,860万円を追加し、予算総額を54億7,660万円とする。
⑴物価高騰対策支援金支給事業　1,003万円
住民税均等割のみ課税の約400世帯に1世帯2万円を支給し、更に子ども1人につき2万円を加算する。　財源：県補助金
⑵プレミアム付き商品券事業　4,807万円
2千円で7千円の買い物ができるプレミアム付き商品券を、住民1人に1枚発行する。
財源：国交付金4,230万円、町財源577万円
【質疑】商品券を買いに行けない交通弱者への対策は。
〈町回答〉販売所へ直接こられない方のために代理人による購入を可とした。
●審査結果：全議員の賛成で承認

8議員が町政を問う！！

一般質問は、議員の日常活動と調査・
研究、町民の声や自身の考えを基に、
町長や教育長などの考えを問うものです。

質問者	主な質問事項
三枝三七子議員	・池田町らしい公共交通の在り方を問う ・農業を基幹産業とするまちづくりを ・町の歳入をこれからどう増やすか
中山　眞 議員	・スマートテロワール構想に係わる町農業のあり方は ・中山間地域農業農村整備事業の進め方は ・新農業法人信州池田アグリ㈱（以降、新農業法人アグリ）に対する考えは
大厩 美秋 議員	・防犯対策について町の考えと今後の取り組みは ・地域猫・野良猫対策について町の取り組みを問う
服部 久子 議員	・旧会染保育園の民間保育事業について ・補聴器購入の補助を求める ・近視の児童・生徒に対して町の対応を求める ・自衛隊への個人情報提供の町の状況を聞く
薄井 孝彦 議員	・避難所開設時の初期対応と避難所訓練のあり方を問う ・町民の健康課題への取り組み状況と今後の対策を問う ・実行できる人口減少対策から実施を
山﨑 正治 議員	・北アルプス展望美術館の今後の方向性を問う ・旧会染保育園の利活用について問う ・デマンド交通も含めた今後の公共交通のあり方について ・開かれた町政としての町民ミーティングの今後は
矢口 結以 議員	・義務教育のあり方検討委員会の進捗状況は ・町教育の課題認識は ・検討委員会の進め方のロードマップは ・「義務教育のあり方」への町長の考えは
安部　誠 議員	・町南部に防災倉庫の設置を求める ・災害時の衛星電話の活用を問う ・学校施設を社会資本として有効活用を

池田町らしい公共交通実現の為に公共交通会議の開催を求める

三枝三七子 議員

問 過去の総合計画のアンケート結果からも公共交通デマンドを求める声が十年前から上位に挙がっている。実証実験をするためにも公共交通会議を早急に開き公共交通計画の策定が待たれるが、計画はあるか。

答 指摘の公共交通会議は方針を町民に寄り添った方法に改め今後必要に応じ随時開催し、必要な調査は行う。しかし公共交通計画の策定は努力義務であり、策定の予定はないが、改善していく。

農業を基幹産業とする町づくりを

問 少子化の進むわが国で、人口減少せず、増加している町村がある。その共通点は、①真剣に町づくりをしている。②雇用の創出企業がある。③子育て環境整備に住民が力を入れている。そういった自治体は外からの企業誘致や非正規雇用で人口増となっているが、地元の農業を根幹に成果を出したのは、北海道の東川町である。有機栽培で土から全面的に作り直し、年商十億円は毎年超える農業企業法人がある。当町でも昨年、新農業法人アグリを立ち上げた。その際、既存の営農法人から下支えをして欲しいとの強い要望も出されている。町長の考えを尋ねる。

スマートテロワール構想に関わる町農業のあり方は

中山 眞 議員

問 スマートテロワール構想でどのような町農業を目指すのか。

答 構想の大きな柱は美しく強靭な農業自給圏をつくること。地域内自給圏を形成し、食料・住宅・電力など地産地消を通じて農業を守り、景観を守るため事業推進を図る。

問 スマートテロワール構想で謳う地域資源・地産地消は何を指すのか。

答 花とハーブ、ガーデンハックルベリーや桜仙峡あずき等の特産品や花き栽培はアルストロメリアの生産も徐々に盛んになってきている。特に米のブランド化を目指し、地元農家や農業団体の皆さんと連携しながら、スマート農業、機械化やデジタル技術活用で担い手の確保に対応していく。

問 中山間地域等直接支払交付金制度が大きく変わり、それに対応する「池田町東山協議会（仮称）」計画の進捗状況は。

答 4月に国から正式に要綱と運用方法が示された。新しく作成が必要となったネットワーク化活動計画を提出期限の今夏に向けて進める。

防犯カメラについて町の考えと今後の取り組みは

大厩 美秋 議員

問 犯罪抑止や「安全・安心のまちづくり」の観点から、防犯カメラを設置、運用する自治体が都市部に限らず増加している。町の防犯カメラの設置状況と今後の増設についての考えは。

答 屋外カメラは交流センター、総合福祉センター、池田小学校、高瀬中学校の4施設に7台設置している。今後の増設は、導入・運用コストがかかることや、プライバシーへの配慮が必要になり慎重にならざるを得ない。緊急性が高いと認められた施設には、速やかに設置できるよう努めたい。

問 防犯面以外の活用として、行方不明者捜索の早期発見や児童生徒の通学路での安全対策の強化など有効な活用を提言する。町の考えは。

答 消防団の活動として、本来、行方不明者の捜索は含まれていないが、協力していただいている。捜索範囲の絞込みと早期発見に防犯カメラは有効と考える。

問 町が目標とする防犯カメラの設置方針を明確にしてほしいが。

答 庁内各課において横断的に研究し、9月頃には方向性を決めたい。

答 新農業法人アグリの株主総会で代表取締役から体調面の不安から辞任の意向が示された。正式には、株主で構成される経営会議で方向性が協議される予定である。地域計画の運用も含め、今の新農業法人アグリの現状を、町内農業者を中心に説明し、町の農業のあり方を意見聴取する必要がある。全ての要望に応えることは困難だが、長期的な視野で解決していきたい。仕切り直しのタイミングとみている。農協と町と企業の出資で構成されているので、やり方によってはモデルケースともなる可能性を見ている。

町の歳入をこれからどう増やすか

問 **当町の予算額は町民一人当たり49万円ほど。大北地域でも松川と池田は同額程度で一番低い。当町の財政予算額は厳しい。今後どう伸ばしていくのか、前回質問した森林環境譲与税も含めてどう考えるか。**

答 今回受けた棚田地域の指定は基盤整備事業において、事業補助金の国庫補助金を5％の嵩上げが受けられるようになった。これも歳入増だ。基準財政需要額に影響が少ない財源を見つけること。そして、「地域活性化起業人制度」などを活用して課題に取り組み、歳入増の期待を持ちたい。重要なのは、当町にとって一番効果があり、継続的な歳入増に繋がる取り組みは何かを見極めることだ。これからも歳入増を目指していく。

中山間地域農業農村整備事業の進め方は

問 **地域計画を基にした農業人口は2030年には81人と予想されている。強靭な農家育成を目指して、テロワール構想推進の核となるのが中山間地域農業農村総合整備事業で、水稲栽培排水路のパイプライン化・農産物加工施設整備、園芸作物や花とハーブ、高収益作物などの園芸団地化を謳っている。いつ、どこが中心になって進めるのか。**

答 町農業が危険水域に入りつつあると考える。整備事業のエントリーを行ったが具体的な内容はこれからである。6月に全住民を対象にした説明会を開催する。意見交換を通し具体的に構築していく。

新農業法人アグリに対する考えは

問 **農業担い手や若手農業参入者の育成を担い、整備事業推進の核となってくる新農業法人アグリに対する町長の捉え方は。**

答 地域計画では担い手不足が顕著になってくると予想している。新農業法人は耕作放棄地の課題解消や、既存の農業法人、団体と連携し補完する役割も担う。高付加価値商品の開発や加工施設を活用した販売力にも寄与すると考える。また、小規模生産者への販売補助や持続性のある水稲栽培を目指す上で新農業法人の役割は極めて重要だと考える。

地域猫・野良猫対策についての町の取り組みは

問 **地域猫・野良猫対策の現状と課題について聞く。**

答 町なかを中心に多くの猫を見かける。住人からの相談に対し、広報でマナーの啓発、追い払いや忌避剤の散布など対応をしているが、解決には至っていない。増やさないための不妊手術を進めたいが、財政面・人材面で課題がある。

問 **飼い主のいない猫に不妊手術を実施することで、繁殖を防止し一代限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関する苦情や殺処分の減少に寄与する活動を行っている「公益財団法人どうぶつ基金」への加入を提案する。**

答 加入できれば、無料（チケット制）で不妊手術を受けられることは非常に有難い。捕獲・不妊手術・元の場所に戻す活動は、行政だけでの対応は厳しいので、ご協力いただけるボランティアがあれば、行政枠として前向きに登録したい。

©公益財団法人どうぶつ基金

ご協力頂けるボランティアをお待ちしております。（環境係）

旧会染保育園の民間保育事業について問う

服部　久子　議員

問　**民間保育園の保育料・保育時間・給食の調理や食物アレルギー対応はどうなるのか。**

答　保育料は公立保育園と同じ。保育時間は午前8時～午後7時（最大）。自園給食で、食物アレルギー対応をする予定。3歳以上の副食費は、今後、無償化を検討する。

問　**保育士の配置基準や労働基準の指導監督はどうなるのか。**

答　県が設置に関して指導監督し、町が運営に関して指導監督する。

問　**池田保育園との交流や情報交換の予定は。住民説明会は何時か。**

答　交流については定期的に校園長会議で情報交換する。説明会は交流センターで2回、多目的研修センターで1回実施する。

補聴器購入の補助を求める

問　**高齢者補聴器購入補助は全国464自治体で実施し、大町市や松川村も実施している。池田町は大北地域で高齢化率が高い。補聴器購入の補助を求めるが。**

答　近隣の市町村の動向を注視する。

近視の児童・生徒に対して町の対応を求める

実践的な「避難所開設・運営訓練」の実施を

薄井　孝彦　議員

問　**避難所を開設する町職員・地域住民は決まっているか。**

答　避難所の開設は学校保育課・生涯学習課の職員が行うことになっている。地域住民は決まっていないが、早期に自主防災会長と希望する施設管理者との顔合わせを行いたい。

問　**実践的な避難所開設・運営訓練を実施して欲しいが。**

答　日本防災士協会長野県支部と連携し、来年度から各避難所に多くの方が参加する実践的な避難所開設・運営訓練を実施する。

町民の健康課題への取り組みは

問　**池田町は県内の同規模人口町村のなかで糖尿病にかかっている割合が一番高く、子どもからお年寄りまで糖尿病予備群も多い。その原因と対策は。**

答　原因は栄養バランスのよい食事をしている方が減少していることが大きい。対策として栄養バランス食を周知し、自分の体に合った食品を選択できるようにし、健診受診率を上げたい。また、糖尿病、糖尿病予備軍の喫緊な課題の解決につながるチラシを作成し、地域に出向いての説明会を行っていきたい。

北アルプス展望美術館の今後の方向性を問う

山﨑　正治　議員

問　**指定管理者静岡ビル保善（株）の2年間の美術館・創造館の活性化と総括は。**

答　町では当初提案に対する真偽及び責任の明確化を図るために、目標入館者数の9割以上を達成できない場合は指定管理料の1割相当額（約285万円）を減額する内容で年度協定を締結した。町では指定管理者に対し毅然と対応している。

問　**指定管理の契約が切れる来年度以降、美術館の運営管理はどうするのか。**

答　町直営ではなく、引き続き3年契約による指定管理方式を継続する。

問　**美術館をもっとウイングを広げて、文化・芸術の発信地としてはどうか。**

答　来年度、新たな指定管理者による運営と並行し、美術館をもっと親しみやすく、多くの皆さんに訪れていただけるような仕組みを考える「協議会」的な組織を立ち上げ、幅広く意見をいただく。

旧会染保育園の利活用について問う

問　**園舎改修費用負担と運営費負担額は。**

答　改修には約1億円を見込んでいるため、嵩上げの採択を得られれば、町の負担額は830万円程度となる予定。運営費につ

問 **令和6年の小中学校の視力検査（眼鏡着用）で結果は、視力1．0以上は428人、視力0．9～0．7は43人、視力0．6～0．4は69人、視力0．3以下は43人だった。視力0．9以下の児童に対して保護者と担任と養護教師の連携はとれているか。**

答 視力0．9以下の家庭に受診を勧めている。

問 **就学援助受給の小中学生は60人だが、眼鏡の対応はしていないと前回、回答した。受給世帯の対応は必要と考えるが。**

答 昨年度は給食費を無償化をし、今年度は医療費無償化とする。眼鏡購入補助は考えていない。

自衛隊への個人情報提供について町の状況を聞く

問 **自衛隊から情報提供の依頼はいつか。提供人数は何人か。**

答 依頼は5月16日。提供人数は18歳の除外申請1名を除く84名である。

問 **昨年末、情報提供中止を求める署名で、町民から提供に対する不安な声が多くあった。ロシアやイスラエルが戦争をしている。日本も軍事予算を拡大し、学問の自由を制限する日本学術会議法人化法案を成立させた。町民の不安に町長はどう応えるのか。**

答 情報提供に関する住民の不安について地方自治体として真摯に受け止めており、除外申請で不安軽減につながっていると思っている。

問 **食物中のカリウムを多く摂ることは体内のナトリウムを排泄するので高血圧症・糖尿病の予防に役立つ。体内のナトリウムとカリウムの比（以降、ナトカリ比）と尿中のナトカリ比はほぼ同じと言われている。宮城県登米市では7年前から特定健診時に尿中のナトカリ比を測定し、健康指導に活かした結果、高血圧の数値が低下している。当町でも健康指導に尿ナトカリ比の活用を。**

答 1回の尿データーの値では誤った保健指導になる恐れがあり、研究課題とする。

要望 日本高血圧学会の3年間の尿ナトカリ比の大規模実証試験でも効果が確認されている。更なる検討をお願いしたい。

実行できる人口減少対策から実施を

問 **町ホームページトップ画面から「ふれあい農園」・「遊休農地」につながる措置を。**

答 早期に形にしたい。

問 **各課での人口減少対策アクションプランを策定し、明文化して欲しいが。**

答 明文化よりも人口減少対策の手を早く打つことが大切であり、今回も幾つかの対策を打ち出した。施政方針がアクションプランと思っていただきたい。

意見 町長は、人口減少対策には行政・議会・町民が力を合わせることが必要と言った。明文化したものがなければ力を合わせることはできない。明文化は必要である。

問 **開園準備の進捗の中で、町民と議会に納得感のある説明を。**

答 工事等の説明については地元への住民説明会を開催し、保護者の皆さまへも説明の機会を設ける。

デマンド交通も含めた今後の公共交通のあり方について

問 **山間遠隔地からの病院・商業地域への移動手段の確保について問う。**

答 交通弱者となる方々への支援策は喫緊の課題である。今年度はデマンド型サービスの導入等も視野に入れて検討を進める。

開かれた町政としての町民ミーティングの今後は

問 **行政の地域懇談会と、町民ミーティングの開催の予定はあるか。**

答 担当課と協議を重ね、適切なタイミングで懇談会の開催を目指す。町民ミーティングはテーマ別の課題を明確にし、昨年度の反省を踏まえ開催について考える。

問 **ユース未来会議の構築とそれをアシストできる体制づくりを。**

答 若者世代のミーティングについて実現できるよう模索している。また行政として同世代の若手職員をアシスト役として活躍できるような体制づくりが必要と考える。

「義務教育のあり方検討委員会」の進捗状況を問う

矢口　結以　議員

問　**検討委員会の設置目的が抽象的で分かりにくく、住民や委員に十分伝わっていないのではないか。委員間でも認識にズレがあるようなら議論に支障が出るのではと懸念するが。**

答　「何をするのかがはっきりしない」という指摘は委員会内にもあった。少子化が進む中、池田町では教育大綱や保小中15年プランに基づいて進めてきた経緯がある。今後は現状の学校の様子や池田町として何を大切にしていくのかを踏まえ、学校の在り方を考えていきたいと繰り返し説明している。

池田町の教育の課題認識は

問　**町には、施設の老朽化や教職員の働き方、不登校、個別最適な学び、保護者や地域との関わり方、部活動の地域移行など多くの課題がある。こうした課題が共有されなければ議論は進まないのでは。池田町の義務教育の課題やこれまでの委員会の手応えや課題認識は。**

答　グループワークから池田町の小・中学校の良い点は、学校間の連携、子ども主体の活動、ＩＣＴ環境の充実、地域との関わり、学習集団のまとまりなどであり、これまでの成果である。

町南部に防災倉庫の設置を求める

安部　誠　議員

問　**町南部の非常用物資並びに非常用食品飲料備蓄所は会染小学校、会染保育園、多目的研修センターになっている。３ケ所の長期保存可能な食品や飲料を合計しても食品が３６０食と飲料が１５６ℓと僅かな備蓄量である。防災倉庫がある町北部と比べて余りにも少ない。見解を問う。**

答　町南部の平地は新たな防災倉庫の建設が難しいので、既存の避難所にスペースを確保し、分散配置を進めたい。

問　**町南部の３ケ所の備蓄所が緊急避難所指定地区は16地区である。この16地区の対象人員は４８１２人で町の総人口の５割を超える、町南部にも震災級の災害に備えて備蓄品を分散する防災倉庫が必要であると考える。**

答　適した場所があれば町南部においても防災倉庫が必要だと考えている。

問　**町南部への防災倉庫設置の町長の見解を問う。**

答　人口に見合った程度の分散配置を進めていく。対応は、今後しっかりしていきたい。

災害時の衛星電話の活用を問う

問　**学校の物資備蓄品に電話機があり、防災倉庫に災害時用公衆電話機がある。衛星**

●議員発議　地域医療を守るため緊急対策の実施を求める意見書

審査結果：賛成少数で否決

【趣旨説明　三枝三七子議員】

当町にある北アルプス医療センターあづみ病院は医師・看護師・薬剤師などの人材不足で処遇改善が難しい状況にある。このまま放置すると必要な医療が町民に提供できなくなる可能性がある。国に必要な措置を求める。

【反対討論　和澤忠志議員】

議会での議論が十分でなく、議会の総意ではないので、反対する。

【賛成討論　薄井孝彦議員】

急激な物価高で病院経費が増えているが、国の診療報酬が上がっていないので、全国の６割の病院が赤字と言われている。地域医療を守るため、賛成する。

【賛成討論　矢口結以議員】

今、地方の病院は厳しい状況にある。緊急医療・小児医療・周産期医療を守るため地方から国に声を上げるため、賛成する。

【反対討論　大概美秋議員】

あづみ病院は厳しい状況にあることを聞いているが、詳しい内容は議会として把握できていない。病院の思いをしっかり聞き、理解した上で討論すべきである。よって、今回の意見書には反対する。

課題は学校でやることが多く教員が忙しいこと、不登校児童生徒への対応、校舎の改修、情報発信不足、小学校でクラス替えができないこと、特別支援教育やインクルーシブ教育を含め、児童生徒一人一人に寄り添った指導や支援のあり方などであり、児童数減少も未経験の課題として挙げられる。

検討委員会の進め方のロードマップは

問 **答申には法的拘束力はないが、教育委員会や行政、議会に対して大きな影響力を持つ。答申後、学校の方向性を定めるには、ロードマップや構想が必要ではないか。**

答 委員会の臨時開催や日程変更も視野に入れている。具体的なロードマップや構想は、答申を受けてから検討する。

「義務教育のあり方」への町長の考えは

問 **現時点での町長の考えは。**

答 教育大綱にもあるように子どもがまんなかで一生懸命取り組んでいるところ。教育委員会も多様な意見の調整に苦労しており、学校の統合には利点と課題の両面があることも認識している。池田町らしさを活かし、子どもたちが「ここで学んでよかった」と思える教育のあり方を模索し、最適な答えを導き出すことが重要。現状維持や単純な統合にとらわれず、子どもに寄り添ったより良い方法があるはずだと信じており、答申までしっかり見守っていきたい。

電話回線接続の有無や活用方法を問う。

答 衛星回線の接続はない。災害時用公衆電話は停電時でも使用できる。

問 **衛星回線電話は基地局の制約がなく、通信インフラが破壊されても機能する。学校等の避難所や広津や陸郷の山間部や消防団への配備が必要と考えるが。**

答 衛星電話は高価なので配置は考えていない。簡易無線機的なものを各避難所や山間部に配置することは十分検討の余地がある。緊急防災・減災対策債を活用して整備を検討していきたい。

学校施設を社会資本として有効活用を

問 **学校施設を社会資本の箱物としての有効活用は社会課題の解決に寄与すると考える。早朝や放課後、休日の学校施設の管理を民間と地域に託したらどうか。町長の見解を問う。**

答 教育委員会の所管となる。対応可能な校舎の区分けや担う方の存在など教育委員会と研究を進めたい。

問 **学校を地域コミュニティーの拠点として、分散した公共施設を再配置することも考えられる。町長の見解を問う。**

答 公共施設の維持管理や更新は重要かつ喫緊の課題と認識している。提案の件については公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき、各担当課の考えを聞き検討していくことになる。

●議員発議　選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

審査結果：賛成少数で否決

【趣旨説明　三枝三七子議員】

夫婦同姓を義務づけているのは日本だけである。平成10年3月の法制審議会で民法改正を答申したが、見通しが立っていない。夫婦同姓を否定するものでなく、選択できる法的整備が必要なので意見書を提出する。

【反対討論　和澤忠志議員】

選択的夫婦別姓制度は日本の伝統文化・家族の一体感が損なわれるなどの問題点があり、反対する。

【賛成討論　薄井孝彦議員】

個人の選択に寛容な社会をつくることは急務であり、420以上の地方議会も意見書を可決しているので、賛成する。

【賛成討論　安部　誠議員】

女性の社会進出を進めるため賛成する。

【反対討論　大厩美秋議員】

生まれた子の姓をどうするかが、問題となる。当町の公益の視点からみて、深刻な意見は聞かれていないので、賛成できない。

【賛成討論　服部久子議員】

戦後、女性参政権を得たが、なかなか男女平等にはなっていない。前に進めるため賛成する。

町民の皆さまと議会との懇談会を行いました

昨年の 12 月から本年 1 月にかけ、2 つの自治会及び団体の皆さまと議会との懇談会を行いました。いただいた要望は町に届け、回答を得ましたので抜粋してご報告します。いただいた要望は常任委員会で検討し、実現するよう働きかけて参ります。

池田町商工会

実施日：令和6年12月18日

- 移住定住補助金の充実を。
  回答：財政状況をみて補助金を変えていく。
- 商業等エリアの活用の推進を。
  回答：使いやすいエリアとなるよう舗装･水道･電気などのインフラ整備を含め、エリアのレイアウトを検討する。

滝の台自治会

実施日：令和7年1月19日

- 自治会加入促進の支援を。
  回答：自治会活動への支援として自治会活動マニュアルを作成した。自治会もマニュアルを参考に取り組んで欲しい。
- 高齢化で粗大ゴミ･家庭ゴミ出しが困難になった。対策を。
  回答：家庭ゴミはふくしの相談係などに相談して欲しい。

陸郷自治会

実施日：令和7年1月26日

- 「鳥追い」などの伝統行事を再開した。町も応援を。
  回答：「元気なまちづくり事業補助金」を活用して欲しい。
- 災害時、孤立地域に物資を運ぶドローン運用の検討を。
  回答：町は県・広域消防などと連携し、積極的に調査研究に参加していく。陸郷自治会の受け入れ状況（操縦士や管理体制）を自主防災会長を通じて聴取したい。

女性団体連絡協議会

実施日：令和7年1月29日

- 高齢者などの足の確保にデマンド交通を実施して欲しい。
  回答：デマンド交通の導入を含め検討を進めている。
- 子どもの遊具がある身近な公園は各地区に必要だが。
  回答：地区への遊具設置は維持管理が困難となる。今年度、かえで広場に大型遊具を設置するのでご理解願いたい。
- 中之郷など中学校から遠い地域の中学校スクールバス（タクシー）を出して欲しい。
  回答：中鵜地区の生徒には3,500円/年 の通学補助を出している。併せて検討する。

新しい議会体制スタート

5月9日、臨時議会が開かれ、議員任期後半(2027年4月20日まで）の新たな議会体制が決まりましたのでお知らせします。

議長あいさつ

横澤はま

12年ぶりに議会基本条例の一部改正を行いました。少子高齢化・人口減少のなか持続可能な池田町を未来に繋げるため、町民・議会・行政が協働して町づくりを進めることが求められています。議会として、行政への監視機能を強めると共に、議会の「政策提案力」を強める措置を条例の中に盛り込みました。このことをしっかりと受け止め、町の発展・町民福祉の向上に努めて参ります。皆様の期待に応えられる議会になりますことを決意し、挨拶と致します。

副議長あいさつ

薄井孝彦

議会基本条例の一部改正と委員会・部会の体制ができました。これからが本番です。議長や議員の皆さんと力を合わせ、機能する議会に尽くして参ります。また、町民の皆さんと歩む議会も追及して参ります。

総務福祉委員会

委員長	山﨑正治
副委員長	安部　誠
委員	三枝三七子
〃	大厩美秋
〃	薄井孝彦
〃	横澤はま

振興文教委員会

委員長	矢口結以
副委員長	和澤忠志
委員	中山　眞
〃	大出美晴
〃	服部久子
〃	横澤はま

議会運営委員会

委員長	大厩美秋
副委員長	三枝三七子
委員	矢口結以
〃	山﨑正治
〃	服部久子
アドバイザー	正・副議長

議会報編集特別委員会

委員長	薄井孝彦
副委員長	服部久子
委員	三枝三七子
〃	安部　誠
〃	和澤忠志

予算決算特別委員会

委員長　大厩美秋
副委員長　三枝三七子
（全議員で構成）

住民との懇談部会

部会長　服部久子
副部会長　三枝三七子
（全議員で構成）

議会改革等推進特別委員会

委員長　薄井孝彦
副委員長　安部　誠
（全議員で構成）

議員の成り手不足対策部会（議員報酬の検討）

部会長	三枝三七子	部員	和澤忠志
副部会長	安部　誠	〃	薄井孝彦
部員	矢口結以	〃	服部久子
〃	山﨑正治		

町の人の声
いまのバスってどう思う？

テーマ：公共交通

今回から、この最終ページを、町民の皆さんの町政・議会へご意見や、お考えを頂くようにしました。次回が9月定例会です。担当議員が、取材に行きましたらご協力下さい。

安倍（あべ） 大和（やまと）さん　高瀬中２年生：南台

❶ 町バスに乗ったことある？

乗った事が無い。本数が少なく、都合の良い時間に乗れない。自転車か親の車を利用している。

❷ 町バスで困っていること

バス時刻が中学生向けでない。中学の始業時間８時10分に間に合うように、旧八十二銀行前着７時45分ぐらいの便が欲しい。

堀内（ほりうち） 弘子（ひろこ）さん　堀之内

❶ 町バスに乗ったことある？

わが家の小学生は通学に利用。遠路通学の同級生にもその輪が広がり、一緒に登校する朝の楽しみとなりました。

❷ 町バスで困っていること

下校時刻とバスの時刻が合わないため登校時のみの利用ですが、それ以外にも子どもが利用できれば行動範囲も広がり、保護者としても送迎にかかる様々な負担が軽減されると考えており、今後は利用者の目的・用途に寄り添った時刻表の改訂や、デマンド交通の推進にも期待しています。

デマンド型を含めた
公共交通網の構築を
渋田見　　T・Nさん

❶ 町バスに乗ったことある？

あまり利用しない。

❷ 町バスで困っていること

私は、渋田見に住む高齢者です。通院の為、あづみ病院に行かなければなりません。しかし、安曇野線・町内巡回線を利用しても、バスを長時間待たなくてはなりません。その結果、高額のタクシーを利用せざるを得ない。デマンド型サービスも含めた公共交通網の構築を強く望みます。

❶ 町バスに乗ったことある？

たまに利用。

❷ 町バスで困っていること

池田町での困りごとは、交通の不便さ。高齢者に対して、「外に出ましょう」と声を掛けられても手段は少ない。町営バスではタ刻のダイヤがなく本当に困っている。鉄道との連絡路線の夕刻に増便してほしいです。現在は通院に社協の「ぶらりおでかけ 乗りましょカー」を利用させて頂き、感謝しています。

米沢（よねざわ）加奈子（かなこ）さん　滝沢

【編集後記】

４年ぶりに3回目の編集委員長を務めることになりました。読んで分かりやすく、また、読みたくなる「議会だより」を目指し、新たに加わった議員の力もお借りし、新たな取り組みにチャレンジして参ります。

激動する社会のなかで、「住んで良かったと思える町」が実現するよう議会からも力を尽くして参ります。

「議会だより」を通じて町民の皆さま・議会・行政の協働の「まちづくり」の輪の一助になればと考えています。

「議会だより」を読んでのご意見・ご感想など気軽に議会事務局まで、お寄せいただければ幸いです。

2年間、よろしくお願い致します。

薄井孝彦

次回議会だよりは令和7年10月22日（水）を予定。

【議会報編集特別委員会】
委員長　薄井孝彦
副委員長　服部久子
委員　三枝三七子
〃　安部誠
〃　和澤忠志

発行/池田町議会　◎企画・編集/議会報編集特別委員会
●住所　長野県北安曇郡池田町大字池田3203－6（池田町役場内）●TEL: 0261・62・3131 ●FAX:0261・62・9529
●E-mail:gikai@town.ikeda.nagano.jp　●ホームページ:https://www.ikedamachi.net/